

2017 年 3 月 23 日 機関投資家向け説明会

主な質疑応答

Q. 市場変更の可能性について

A. 当社が上場することによる、一番のメリットは採用活動への影響と考えております。当社のようなサービス事業会社は、上場か非上場かという点が大きなポイントの一つであります。したがって、当社は 2007 年に JASDAQ に上場をいたしました。しかしながら、同業他社の中には、東証一部に上場している企業も数社ございます。

当社の経営の推進を考慮した際、東証一部に上場している同業がいる以上、手段として、同じところを目指すのは当然のことであると考えております。

Q. 情報・通信分野での収益性の高さについて

A. ソフトウェア分野に関しましては、顧客からの要請に対して、供給できる人材が少ないため、機械、電気電子分野と比較しますと、単価交渉の際、当社に優位に交渉することが可能です。そのため、主に組込ソフトの利益率に関して、他の職種群と比較して、好条件で配属ができており、利益率の向上に繋がっていると考えられます。

Q. 2018 年 1 月期の業績予想について、利益率を前期と同等とした背景について

A. 既存技術者の単価改定や新卒技術者の初配属単価など、不確定な要素を保守的に見た結果、このような業績予想になっております。

以上